

校長室便り

平成28年12月6日（火）No.16
土佐清水市立下ノ加江小学校
校長 山崎 修二
Tel/fax 0880-84-0031
e-mail:shiyuji_yamasaki@kt5.kochinet.ed.jp

◇研究授業(3.4年 5年 6年)

先週は、講師を招聘しての校内研修を行いました。28日（月）が藤田教頭、田中複式主任（附属小から）、30日（水）が段松チーフ（西部教育事務所）にご指導をいただきました。



3,4年生は、田中先生の国語「説明文」の授業です。教師が片方の学年を指導している時、一方の学年にどのように学習させるのか実践を見せていただきました。

先生は、常に両学年に目配せ・気配りをし、指示や評価をいれていました。子どもたちだけで学習する時間という感じではなく、単式学級のような感じも受けました。

その後5校時に、3,4年の算数科の授業を担当がなくなりました。

一人学び・とも学びを取り入れ、教師のつかない時は、学習リーダーが学習を進めました。まず、4年生は、愛佳さんが進めていきました。昨年複式を経験しているので、学習課題の提示、一人学習へとすすみました。子どもたちはこの「自ら学習をしていく」ということができつつありました。

左の写真(上から2番目)は、変わった形を工夫して面積を求められないか考えているところです。

6年生では、藤田先生に算数の「並べかたと組み合わせ方」の授業をしていただきました。

子どもたちは先生の巧みな話術で授業に引き込まれていきました。見ていて、学習課題の提示の仕方、学習意欲が上がること、この時間で学ぶことをしっかり子どもたちにつかませること、児童への評価の仕方等々、学ぶことができました。

30日（水）は5年生の算数科の授業をご指導いただきました。

本校では、子どもたちがしっかり考え、自分の意見を出し、友だちの考えと関連させて「練り合う授業」づくりを目指しています。

今回の学習のねらいは、「三角形の面積の求め方を説明しよう」でした。これまで学習したことをもとに工夫して求めることでした。

写真(一番下)にあるように図形を変形して求めています。今回は、この自分の求め方を発表して、他の意見と練り合う場面が少なかったですが、面積を求めることができました。

複式では、「学習リーダー」を中心にして学習すること、複式、単式を問わず、意見や考えを出し合い深める授業をよりめざすことを大事にしています。参観日等で授業を見ていただいた時、何かお気づきのことがありましたら 担任へお声かけをお願いします。

